平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年2月9日

上場会社名　大日本塗料株式会社　　上場取引所　東
コード番号　4611　URL http://www.dnt.co.jp
代表者　(役職名) 取締役社長　(氏名) 岩淺 壽二郎
問合せ先責任者　(役職名) 取締役専務執行役員管理本部長　(氏名) 瀬古 宜範　TEL 06-6466-6661
四半期報告書提出予定日　平成30年2月13日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績 (平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	55,808	2.6	5,140	6.5	4,941	2.3	3,564	11.2
29年3月期第3四半期	54,413	△4.8	4,825	12.8	4,828	14.1	3,206	14.1

(注) 包括利益　30年3月期第3四半期　4,538百万円　(51.3%)　29年3月期第3四半期　2,999百万円　(21.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	122.76	122.14
29年3月期第3四半期	109.68	109.27

(注) 当社は、平成29年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	73,042	39,750	51.1	1,291.85
29年3月期	70,374	36,319	48.5	1,171.93

(参考) 自己資本　30年3月期第3四半期　37,310百万円　29年3月期　34,103百万円

(注) 当社は、平成29年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり純資産」を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	―	0.00	―	4.00	4.00
30年3月期	―	0.00	―		
30年3月期 (予想)				25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

当社は、平成29年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。平成30年3月期 (予想) の1株当たり期末配当金については、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載しております。詳細については、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

3. 平成30年 3月期の連結業績予想 (平成29年 4月 1日～平成30年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	74,000	1.7	7,000	7.1	6,900	4.5	4,500	△13.5	154.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

当社は、平成29年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。平成30年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式併合の影響を考慮しております。詳細については、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） ： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 無
④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期3Q	29,710,678 株	29年3月期	29,710,678 株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	829,094 株	29年3月期	610,666 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期3Q	29,035,727 株	29年3月期3Q	29,237,304 株

（注）当社は、平成29年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1．当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（株式併合後の配当及び連結業績予想について）

当社は、平成29年6月29日開催の第134期定時株主総会において、株式併合について承認可決され、平成29年10月1日を効力発生日として、普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。なお、株式併合考慮前に換算した平成30年3月期の配当予想及び連結業績予想は以下のとおりとなります。

1．平成30年3月期の配当予想
　1株当たり配当金 期末 5円00銭
2．平成30年3月期の連結業績予想
　1株当たり当期純利益 通期 30円94銭

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（セグメント情報等） …… 8
（重要な後発事象） …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第３四半期連結累計期間における我が国経済は、企業収益や雇用環境の改善を背景に緩やかな回復基調で推移しましたが、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動による影響が懸念されるなど、先行きには不透明感が残る状況となっております。

当社グループの連結業績につきましては、増収増益となりました。国内塗料事業は工業用分野における需要の拡大を受け売上は増加しましたが、原材料価格高騰の影響から利益は前年を下回り、増収減益となりました。海外塗料事業は北中米市場における自動車部品分野の堅調な需要を受け、増収増益となりました。照明機器事業は業務用ＬＥＤ照明分野の需要が堅調に推移し、増収増益となりました。

この結果、当第３四半期連結累計期間の売上高は558億８百万円（前年同四半期比 2.6%増）、営業利益は51億４千万円（同 ３億１千４百万円増）、経常利益は49億４千１百万円（同 １億１千２百万円増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は35億６千４百万円（同 ３億５千７百万円増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

［国内塗料事業］

主力の構造物分野ではインフラ市場を中心にシェア拡大に注力し、工業用分野では工作機械向けの需要拡大を受け、それぞれ売上が増加しました。一方で原材料価格高騰の影響により、利益は前年を下回りました。当セグメント全体の業績としては、増収減益となりました。

この結果、売上高は407億６百万円（前年同四半期比 0.9%増）、営業利益は28億６千６百万円（同 １億１千７百万円減）となりました。

［海外塗料事業］

北中米市場では自動車生産台数が前年を上回る水準で推移しており、自動車部品分野の売上が増加しました。東南アジア市場では構造物分野を中心に売上が増加しました。中国市場では工作機械向けの需要拡大を受け、工業用塗料の売上が増加しました。当セグメント全体の業績としては、増収増益となりました。

この結果、売上高は58億９千２百万円（前年同四半期比 13.0%増）、営業利益は10億７千６百万円（同 １億７千６百万円増）となりました。

［照明機器事業］

業務用ＬＥＤ照明分野の需要が堅調に推移したことに加え、工事受注高が回復したことで、蛍光灯分野における市場縮小の影響を補い、増収増益となりました。

この結果、売上高は67億６千５百万円（前年同四半期比 4.1%増）、営業利益は７億３千万円（同 １億２千２百万円増）となりました。

［蛍光色材事業］

主要市場である海外蛍光顔料市場の低迷及び価格競争激化の影響により売上は減少しましたが、高付加価値品の拡販及び経費削減の効果により、減収増益となりました。

この結果、売上高は９億５千２百万円（前年同四半期比 8.2%減）、営業利益は１億２百万円（同 ２百万円増）となりました。

［その他事業］

売上高は14億９千１百万円（前年同四半期比 11.8%増）、営業利益は１億８千１百万円（同 ８千１百万円増）となりました。

（２）財政状態に関する説明

当第３四半期連結会計期間末の総資産は730億４千２百万円となり、前連結会計年度末と比較して26億６千８百万円の増加となりました。流動資産は347億８千５百万円で前連結会計年度末と比較して18億６千２百万円の増加となりましたが、これは現金及び預金の減少４億９千６百万円、受取手形及び売掛金の増加19億４百万円、たな卸資産の増加６億２千万円、繰延税金資産の減少１億３千５百万円が主因であります。固定資産は382億５千７百万円で前連結会計年度末と比較して８億５百万円の増加となりましたが、これは有形固定資産の減少４億４千５百万円、無形固定資産の減少２千３百万円、投資その他の資産の増加12億７千５百万円が主因であります。

負債は332億９千２百万円となり、前連結会計年度末と比較して７億６千３百万円の減少となりました。流動負債は276億２千９百万円で前連結会計年度末と比較して７億９千５百万円の減少となりましたが、これは支払手形及び買掛金の増加18億５千８百万円、短期借入金の減少11億２千２百万円、未払法人税等の減少11億４千９百万円、製品補償引当金の増加２億３千６百万円、その他流動負債の減少５億６千７百万円が主因であります。固定負債は56億６千２百万円で前連結会計年度末と比較して３千２百万円の増加となりましたが、これは長期借入金の減少１億４千３百万円、繰延税金負債の増加３億５千５百万円、リース債務の減少１億７千４百万円が主因であります。

純資産は397億５千万円で前連結会計年度末と比較して34億３千１百万円の増加となりました。これは利益剰余金の増加29億７千１百万円、自己株式の増加３億７千９百万円、その他有価証券評価差額金の増加５億８千６百万円、為替換算調整勘定の増加１億１千１百万円が主因であります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点では、平成29年11月10日発表の通期連結業績予想を変更しておりません。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成29年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成29年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,416	3,920
受取手形及び売掛金	17,802	19,706
商品及び製品	5,376	5,800
仕掛品	714	763
原材料及び貯蔵品	2,918	3,065
繰延税金資産	758	622
その他	1,013	972
貸倒引当金	△76	△66
流動資産合計	32,923	34,785
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	19,125	19,099
減価償却累計額	△13,053	△13,272
建物及び構築物（純額）	6,072	5,826
機械装置及び運搬具	20,858	21,139
減価償却累計額	△17,726	△18,040
機械装置及び運搬具（純額）	3,132	3,098
土地	11,287	11,287
リース資産	1,382	1,326
減価償却累計額	△535	△608
リース資産（純額）	846	717
建設仮勘定	22	59
その他	5,282	5,310
減価償却累計額	△4,167	△4,268
その他（純額）	1,115	1,042
有形固定資産合計	22,476	22,031
無形固定資産		
リース資産	307	268
その他	541	557
無形固定資産合計	849	825
投資その他の資産		
投資有価証券	6,486	7,185
繰延税金資産	1,698	1,635
退職給付に係る資産	5,315	6,000
その他	698	649
貸倒引当金	△73	△70
投資その他の資産合計	14,125	15,400
固定資産合計	37,451	38,257
資産合計	70,374	73,042

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成29年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成29年12月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,014	17,872
短期借入金	5,112	3,989
リース債務	310	300
未払法人税等	1,537	387
役員賞与引当金	33	－
製品補償引当金	90	327
環境対策引当金	8	－
その他	5,319	4,752
流動負債合計	28,424	27,629
固定負債		
長期借入金	182	38
リース債務	953	779
繰延税金負債	2,022	2,378
再評価に係る繰延税金負債	1,303	1,303
退職給付に係る負債	995	992
環境対策引当金	106	103
その他	66	67
固定負債合計	5,630	5,662
負債合計	34,055	33,292
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,827	8,827
資本剰余金	2,452	2,452
利益剰余金	17,048	20,019
自己株式	△550	△930
株主資本合計	27,777	30,368
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,198	2,785
土地再評価差額金	1,882	1,882
為替換算調整勘定	△174	△62
退職給付に係る調整累計額	2,419	2,337
その他の包括利益累計額合計	6,325	6,941
新株予約権	105	136
非支配株主持分	2,110	2,302
純資産合計	36,319	39,750
負債純資産合計	70,374	73,042

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成28年４月１日 至　平成28年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成29年４月１日 至　平成29年12月31日）
売上高	54,413	55,808
売上原価	37,559	38,488
売上総利益	16,853	17,320
販売費及び一般管理費	12,028	12,179
営業利益	4,825	5,140
営業外収益		
受取利息	4	9
受取配当金	133	154
その他	206	186
営業外収益合計	344	350
営業外費用		
支払利息	92	54
製品補償引当金繰入額	27	268
環境対策費	69	－
その他	152	227
営業外費用合計	341	549
経常利益	4,828	4,941
特別利益		
投資有価証券売却益	168	595
その他	4	38
特別利益合計	172	634
特別損失		
固定資産処分損	43	40
事業構造改善費用	143	－
災害による損失	－	39
その他	39	9
特別損失合計	227	90
税金等調整前四半期純利益	4,773	5,484
法人税、住民税及び事業税	1,011	1,287
法人税等調整額	341	334
法人税等合計	1,353	1,621
四半期純利益	3,420	3,862
非支配株主に帰属する四半期純利益	213	298
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,206	3,564

（四半期連結包括利益計算書）

（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成28年４月１日 至　平成28年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成29年４月１日 至　平成29年12月31日）
四半期純利益	3,420	3,862
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	428	586
為替換算調整勘定	△841	172
退職給付に係る調整額	△12	△82
持分法適用会社に対する持分相当額	4	△0
その他の包括利益合計	△420	675
四半期包括利益	2,999	4,538
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,972	4,180
非支配株主に係る四半期包括利益	26	358

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、平成29年５月12日開催の取締役会決議に基づき、自己株式218,800株の取得を行いました。この結果、当第３四半期連結累計期間において自己株式が379百万円増加し、当第３四半期連結会計期間末において自己株式が930百万円となっております。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間（自　平成28年４月１日　至　平成28年12月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	国内塗料	海外塗料	照明機器	蛍光色材	計				
売上高									
外部顧客への売上高	40,326	5,212	6,501	1,038	53,079	1,334	54,413	－	54,413
セグメント間の内部売上高又は振替高	702	9	0	45	759	1,835	2,594	△2,594	－
計	41,028	5,222	6,502	1,084	53,838	3,169	57,008	△2,594	54,413
セグメント利益	2,983	900	607	99	4,591	100	4,692	133	4,825

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、塗装工事事業、物流事業等を含んでおります。

２．セグメント利益の調整額133百万円には、セグメント間取引消去137百万円、のれんの償却額△3百万円が含まれております。

３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第３四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間（自　平成29年４月１日　至　平成29年12月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	国内塗料	海外塗料	照明機器	蛍光色材	計				
売上高									
外部顧客への売上高	40,706	5,892	6,765	952	54,317	1,491	55,808	－	55,808
セグメント間の内部売上高又は振替高	702	－	0	48	751	1,886	2,637	△2,637	－
計	41,408	5,892	6,766	1,001	55,068	3,377	58,446	△2,637	55,808
セグメント利益	2,866	1,076	730	102	4,775	181	4,957	182	5,140

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、塗装工事事業、物流事業等を含んでおります。

２．セグメント利益の調整額182百万円は、セグメント間取引消去であります。

３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第３四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。

（重要な後発事象）
該当事項はありません。